

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

私が住む大原の近所の人々は、いつも気持ちよく挨拶をしてくれます。外国人であることを特別に意識したり、私に無理に英語で話そうとしません。私はこれまで日本の幾つかの町や村でくらししてきました。外国人扱いせず、はじめから私を自然に受け入れてくれたのは、大原の人が初めてでした。

日本に来て間もない頃、日本人の言う「X」が本当に「はい」なのか、「いいえ」が本当の意味で「Y」なのか、私は理解しにくいと思いました。「はい」が、ある時は丁寧な「Z」の意味があるということに気付くようになるまで時間がかかりました。

また、日本人は「ええ」という言葉をよく使います。これが「はい」、また時には「いいえ」を指すようです。その場の雰囲気や相手の目や表情を観察して、どちらの「ええ」なのか判断できるようにするのに、私はかなりの年数を要しました。自分を出さず、和を重んじるこの国の人の考え方やコミュニケーションの仕方に、私は戸惑ったものでした。日本では、この日本流のコミュニケーションが普通で、うまく回っていると思います。

I、外国人と英語で話すような場合は、日本流コミュニケーションではうまくいかない時もあります。

英語は直接的ではっきり表現する言語です。「イエス」と「ノー」をはっきりと表現しなければ、自分の意思是相手に伝わりません。私の英語の授業で「私の言ったことを理解しましたか？」と尋ねると、ほとんど全員が「イエス！」と答えます。しかし、ひとりひとりの目を見ると、それが本当に「イエス」なのか、又は「ノー」であるのかが分かります。英語では、肯定する時は「イエス」、否定する時は「ノー」と言わなければ相手に伝わりません。II、新しい言語を学び始めた時は、文法や単語を間違えることをあまり気にしない方がいいと思います。間違ったらどうしようと考えると話すのが億劫になります。うまく喋れないから恥ずかしいと引つ込むと言葉が出なくなります。適切な言葉や文法を探し出すことよりも、まず人に自分の考えを伝えたい、コミュニケーションしたいという意思が重要なのだと思います。

「日本の英語教育は、読み書きと文法がベースだったので、^A会話は苦手です」と話す生徒さんが多いようです。英語を話せないひとつの理由が、日本の英語教育にあるといえるかもしれません。でも、別の原因もあると思います。

日本では、英語の発音をクイーンズ・イングリッシュやアメリカン・イングリッシュであることを気にする人が多いようです。けれども世界中の様々な国の人が、英語を国際共通言語として使っています。インド人はインドっぽい発音の英語、フランス人はフランス語っぽい発音の英語を話します。

大原に大原弁があるように、日本人らしい英語で話していいのではないのでしょうか。イギリス人やアメリカ人の喋り方を真似る必要はないと思います。英語が母国語のイギリス、アメリカ、アイルランド、オーストラリアなどの国でも、英語の発音やイントネーションが異なります。できるだけ長く、無理せず自分らしく会話ができる発音で話すのが、自然だと思うのです。

私は一九歳で日本に住むようになりましたが、その時は日本語がまったく分かりませんでした。私は何度も何度も人が話しているのを聞こうと努力しました。聞いているうちに日本語を自然に覚えられるのではないかと思っていました。日本語を聞き取れず、意味が分からないままの年月が流れました。それが、五年経ったある日、まさに突然のことです。それまでバラバラに聞こえていた日本語の単語が全てリンクし、急に日本語が分かるようになりました。

以前、私の英会話学校に、三歳の子供を連れて母親が来ました。母親はその子を英語の授業に参加させたいようでした。私は英語を勉強するにはまだ早すぎるのではないかと言いました。

しかし、彼女は私にこう言いました。

「この子が英語を覚えなくてもいいのです。あなたに英語で話してもらい、英語を話す子と一緒に遊ぶうちに、世界には日本語以外の言葉があり、日本人とは違う顔や肌の色をした人々がいるということを、この子が感じてくれたらいいのです。」

Ⅲ

外国人や異文化に対して差別やコンプレ

ックスを抱かない、広い視野を持つ人間になって欲しいのです」
私は彼女の話に心を揺さぶられました。

(ベニシア・スタンリー・スミス 『ベニシアの京都里山日記』による)

問一 ――部①～③のカタカナを漢字に、漢字をひらがなに直しなさい。

問二 本文中「X」「Y」「Z」には「はい」か「いいえ」のどちらかが入ります。それぞれ適切なものを解答用紙に答えなさい。

問三 本文中

I

 ～

III

 にあてはまる語句として適切なものを、それぞれ次のア～オから選んで記号で答えなさい。

- ア そして イ なぜなら ウ たとえば エ しかし オ また

問四 ――部A「会話は苦手です」とありますが、それについて説明した次の文章の

1

 ～

4

 に当てはまる言葉を本文中よりぬき出して答えなさい。

英会話の生徒の多くは、

1

 だった

2

 が原因で英会話が苦手だと考えている。しかし、それだけでなく別の原因として、英語の発音が

3

 ・イングリッシュや

4

 ・イングリッシュであるかどうかを気にするように、自分自身の英語の発音を気にしすぎること
も原因だと筆者は考えている。

問七 — 部C「私は彼女の話に心を揺さぶられた」とありますが、筆者が三歳の子どもを連れた母親のエピソードで心を揺さぶられたのはなぜですか。その理由として適切なものを次のア～エから一つ選び記号で答えなさい。

ア 幼い子どもに英語を話させようとする熱意に感動したから。

イ 幼い子どもに英語を通じて人間性を育てる心を感じたから。

ウ 幼い子どもに英語を学ぶ厳しさを選んだことに感心したから。

エ 幼い子どもに英語を学ばせることが必要かどうかわからなくなったから。

問八 あとのア～オについて、本文に書かれている英語について説明しているものにはAを、日本語について説明しているものにはBを、どちらにも当てはまるものにはCを答えなさい。

ア 直接的ではっきりと表現する言語であり、肯定と否定をはっきりと区別している。

イ 和を重んじる国の言語であり、その場の雰囲気や相手の表情を観察することが必要である。

ウ 世界中の様々な国の人が、国際共通語として使っている。

エ 地域や場所によって発音やイントネーションが異なっている。

オ この文章を書いている筆者の母国語だと考えられる。

三

次の文章は柚木麻子「本屋さんのダイアナ」の一節である。小学三年生の「矢島ダイアナ」は、自分のおかしな名前も、母「ティアラ」に染められた金髪も大嫌いだ。これを読んで後の問いに答えなさい。

「ねえ、その髪の毛、どうしたの？ 自分で染めたの？」

気の強そうな味噌っ歯が唇から覗き、探るような目で尋ねられた。

「うん……。ティ……、ええと、お母さんが」

「へえ、うちのママが言った。子供のうちに髪を染めたり、脱色すると、健康によくないんだって。大きくなれないらしいよ？ 矢島さんのお母さんって変わってるんだね」

① 訳知り顔で、周囲に聞かせるように声を張り上げる。何人かの女の子が振り返ってじろじろとこちらを見ている。出会って間もないのにどうしてこちらを攻撃するような真似をするのだろう。恐れる気持ちを堪え、上目遣いで観察していると、味噌っ歯はおびえたような色を浮かべた。みんなそうだ。話しかけてきたのはそっちのくせに、ダイアナが見つめ返すと、大抵の子供は怖がって先に目を逸らす。

「なに、その目。にらむことないじゃない！」

にらんだつもりなんてない。びくりして何か言い返そうとしても言葉が出て来ない。

「私、なんにも悪いことなんて言ってないじゃない。なによ、ダイアナなんて変な名前のくせに。あんなのママ、おかしいよ！」

味噌っ歯の言う通りだった。ティアラは確におかしい。どうして普通のお母さんのようになれないのか。わざわざ指摘されなくても、ダイアナはいつもため息をつきたいような思いで生きている。どうしてみんなはダイアナを放っておいてくれないのだろう。自分が人を不快にする存在だということくらい、よくわかっている。好かれようなんて思っていない。ただ、静かに過ごせればそれでいいのに。

「ダイアナは変な名前じゃないわよ。みかげちゃん」

ア すっと胸がさわやかになるような、よく通る声でした。振り向くと、真っ黒なおかつは頭の女の子がにこにこしていた。真っ先に、綺麗な子だ、と思った。華やかな顔立ちではないが、目鼻たちが整っている。陶器人形のようになめらかな肌、形のよい広い額はいかにも頭が良さそうで、髪はお習字の墨のように黒々とつやがある。着ているものは地味なブラウスと紺色のスカートだけど、パリッとしていて清潔な印象だ。明らかに、他の子と

は何かが違う。

『赤毛のアン』って知ってる？ アンの親友はダイアナって言うんだよ」

わあ——。ダイアナは目を丸くする。『赤毛のアン』はほとんどベストワンと言ってもいいくらい、大好きな一冊だ。暗記するくらい何度も読み返している。アンというおしゃべりで空想好きな女の子が好きでたまらなかったし、いちご水やパフスリーブ、ハートのキャンデーなど可愛いものや美味しそうなものに満ちている。ダイアナはアンの自慢の美しい親友で、どんな時でも心が通じ合っている二人の関係がうらやましかった。こんな風の本の話を誰かと出来るなんて——。みかげちゃん、と呼ばれた味噌っ歯はなんだかつまらなそうに肩をすくめた。

「知らない。私、本なんて読まないもん。彩子ちゃんと違ってね。ママは読め読めうるさいけど」

みかげちゃん、とやらはどうやら彩子ちゃんに一目置いているらしい。たしなめられた時に、ひどく X 顔をした。彩子ちゃんという女の子にはおしとやかに見えて、周りの人をぐっと納得させてしまうような芯の強さが感じられた。

「もったいない。とっても面白いんだよ。ああ、ダイアナなんて名前で羨ましいなあ」

女の子はこちらをまっすぐに見つめると、にっこり微笑んだ。素直でまっすぐでぴかぴかで、友達になりたいとどんな子でも思うようなそんな笑顔だった。育ちがいい、とはこういうことを言うのかもしれない。

(中略)

「私は神崎彩子っていうの。子がつく名前なんてめずらしいでしょ。おばあさんみたい」

味噌っ歯が行ってしまうと、彼女ははにかみながらそう名乗った。ダイアナはやつとのことで首を横に振る。おばあさんだなんてとんでもない。神崎彩子——うっとりするくらい素敵な名前だ。きつとお父さんとお母さんが心を込めて名付けたのだろう。

「私、一年生の時からあなたのこと知ってるの。中央図書館を使ってるでしょ」

「う、うん」

「私、何度もあなたのこと見てるよ。中央図書館でも貸し出しの数が多くて、ロビーのところに表彰状が飾ってあったでしょ。パパがね、すっこ

く褒めてた。いっつも鞆かばんにたくさん本を詰めて、あなたが一人で借りたり返したりしているところを私達、何度か見たのよ。あんなにたくさん本を読むなんて偉いねえって。岩田先生も言ってたけど、ダイアナちゃん、すごいね。私、同じクラスになれて、とっても嬉しい」^B

まさか、自分の姿が誰かの目に留まっているなんて考えたこともなかった。この子と仲良くなりたい。心の中で何かが静かに震え出す。彩子ちゃんと仲良くなったなら、途方もなく楽しい毎日が始まる気がした。彼女を取り巻く穏やかで澄んだ空気はどうしようもなく惹かれる。このチャンス逃のがしたくない。彼女ならきつと自分を分かってくれる。腹の底に力を込めた。アンにジョー、^{*1}パッティに^{*2}ロツテに^{*3}エリザベス。物語のヒロインはいつだって勇敢で、自分から人と繋がることを恐れない。ああ、みんな、私に力をちょうだい。

「ねえ、あのよければ……。学校が終わったら、中央図書館に行くの。返却が今日までなんだ。一緒に……。行かない？」

彩子は大きく目を見開いた。綺麗な顔にやさしい微笑が広がっていくのを、ダイアナは息を詰めて見つめた。カーテンが風にふくらみ、ふんわりと二人を包み込む。教室の喧噪が一瞬遠のき、世界はダイアナと彩子だけのものになった。春が始まったばかりの、しんと冷たくて、それなのに日向ひなたくさい風が頬をなでた。

*1 ジョー 作家ルイーザ・メイ・オルコットによる「若草物語」の主人公。

*2 パッティ 作家ジーン・ウェブスターによる「おちやめなパッティ」の主人公。

*3 ロツテ 作家エーリヒ・ケストナーによる「ふたりのロツテ」の主人公。

*4 エリザベス 作家エニド・ブライトンによる「おてんばエリザベス」の主人公。

問三 ——部B「あんなにたくさん本を読むなんて」とありますが、ダイアナが今まで読んできた本の登場人物たちの共通点は何ですか。次の□に合うように本文中より二十五字以内でぬきだして、その始めと終わりの五字を答えなさい。(句読点も字数にふくめます。)

二十五字以内

点。

問四 空欄 X に当てはまるものとして最も適切なものを次のア～エから一つ選んで記号で答えなさい。

ア うれしそうな イ 傷付いた ウ いらだった エ ほっとした

問五 ——部C「このチャンス」とありますが、チャンスの内容を説明したものとして最も適切なものを次のア～エから一つ選んで記号で答えなさい。

ア みかげちゃんから離れて、攻撃から逃げるチャンス。
イ 図書館で本をたくさん読んでいるのをほめてもらうチャンス。
ウ 初めて出会った彩子ちゃんと仲良くなって友達となるチャンス。
エ 早く中央図書館に行って、物語の中に入り込むチャンス。

問六 ……部ア～エのなかで一つだけ用法が異なるものがあります。用法が異なるものを一つ選んで記号で答えなさい。

問七 本文に出てくるA～Dの人物について説明したものととして、最も適切なものをあとのア～オからそれぞれ一つ選んで記号で答えなさい。ただしア～オの中で一つだけ、どの人物にも当てはまらないものがあります。

A 矢島ダイアナ B みかげちゃん C 神崎彩子 D 岩田先生

ア 本をほとんど読むことがなく、他人を変な名前と言ってしまう性格の人物。

イ おしゃべりで空想好きなアンの親友であり、アンと心が通じ合っている人物。

ウ 図書館に表彰状も飾られているほど本が好きで、静かに過ごすことが好きな人物。

エ ダイアナのことを知っていて、本をたくさん読むことを偉いと言ってくれている人物。

オ ダイアナと初めて同じクラスになった、穏やかで澄んだ空気を取り巻いている人物。

問八 本文の内容を説明したあとのア～エについて適切なものには○を、適切でないものには×を答えなさい。

ア 小学校六年生となったダイアナは新しいクラスで一人も友人がいなかったが、すぐに全員と仲良くなることができた。

イ みかげちゃんは攻撃的な部分もあるが、陶器人形のようになめらかな肌で地味な服装だけど清潔な印象であった。

ウ ダイアナは『赤毛のアン』はあまり好きではなかったが、彩子のひと言がきっかけで大好きな作品のひとつに変わった。

エ ダイアナはたくさんの本を読み、たくさん登場人物から学んだことを活かして友人を作るきっかけを手に入れることができた。